



相談部だより

令和3年7月19日発行
7月号 都立晴海総合高等学校 相談部

さあ夏休み！

「緊急事態宣言」が発令されている中で、夏季休業を迎えることとなりました。3年次生は希望進路実現に向けて、着実に前進できるように準備を進めましょう！このような事態が受験生にとっては「有利な状況」という発想で、志望校突破への実力を、ぜひ蓄えて下さい。

1・2年次生は先日、実施された大学・専門学校の先生方による「模擬授業」で新たな目が開かれたことが講義レポートからうかがえます(2年次満足度 99.6%)。目標を決めて勉強に励み、オープンキャンパス等に参加して情報を集めるなど、各自計画を立てて夏休みを過ごしましょう。しっかり取り組んで、「夢を実現するために『今』何をなすべきか」を考えましょう。

夏季補習について

<日程>

前期：7月21日(水)～7月29日(水)

後期：8月25日(水)～31日(火)

※期間外実施あり

実施時間：40分短縮授業の時程(基本)

場所：教室掲示の一覧表を要確認

持ち物：担当者に要確認

今年度も、夏季休業期間に夏季補習を行うこととなりました。前期授業の補習や、検定合格に向けた取り組み、そして茶道や製菓などの講座を含めて、全54講座が開講します。特に、3年生向けには、推薦入試対策としての小論文講座など、一般受験対策として、共通テスト対策講座等と、集中的に学習できる環境が整っています。爽りの多い夏季補習となるよう、がんばってください。

実施日時や教室などは、教室に掲示してある一覧表を必ず確認するように、お願いします。尚、**無断欠席は厳禁**です。やむを得ない事情で休む場合は、事前に講座担当者に連絡を入れてください。

3年次「模擬面接」指導について

3年次生の推薦入試指導が夏季補習期間からスタートします。指定校・公募推薦の人は必須になりますので気をつけて下さい。7/21(水)、8/25(水)、26(木)は必ず予定を空けてください。

面接官は、皆さんがその大学・学校に入って活躍できる人材か、を考えています。まずはその大学の特徴などを自身でしっかり調べておくこと。そして、人柄も見ています。衣服の乱れや言葉遣いは要注意。普段から気をつけられることもありますので、この夏休み、生活面の見直しもしてはいかがでしょうか？

推薦入試はある意味、一般受験よりも準備が大変です。夏休みにしっかり準備をして、秋に良い成果を出せるよう、頑張ってください。

夏休み期間中のガイダンスセンター開室時間

学校閉庁日と8/4・5・25・26を除く

平日 9:30～15:30

推薦入試対策の個別指導が始まりました

各担当の先生との最初の面談が終わり、各自ご指導を受けたことと思います。

総合型入試は別名「自己推薦」とも呼ばれることがある試験ですから、先生からの指示を待つだけではなく自分から積極的に対策を進めるようにしましょう。

先生方からの指導と重複するかもしれませんが、最低限やっておくべきことをここにまとめましたので、よく読んで実行に移してください。

「**受験する学校が決まったら対策は一日でも早く始めた方がよい**」とは君たちの先輩の卒業生の言葉です。

1. **過去問を手に入れよう。**そして小論文など実際に書いてみよう

卒業生が過去に受験した学校であれば、ガイダンスセンターにその受験報告が残っています。

(必ず相談部の先生の許可を得てから閲覧すること。撮影禁止) また大学のHPを見ると、申し込めば過去問を送ってくれるところがあります(中央大学等) その他、受験生支援のインターネットサイトから入手できる場合もあります。過去問というわけではありませんが、ベネッセハイスクールオンラインの「受験レポート」が役に立つかもしれません。

2. **希望する大学の入試要項をよく読もう。**

希望する大学や学部が専願であれば、そこで受験校は一本化されることとなります。保護者の方や担任の先生とも話し合っ決定は慎重に下しましょう。

入試要項の中で特によく確認しなければならないのが、①アドミッションポリシー、②提出書類や事前課題、③選考方法の3点です。

その他、合格後支払わなければならない費用についても保護者の方と確認しておきましょう。

①その大学が求める学生像の記述の中で自分に当てはまるものがなければなりません。そしてそこが自分のアピールするポイントとなります。また、多くの大学で高い語学力を有する学生を求めていることも踏まえ、学校で履修した英語やその他の外

国語関連の科目の学習成果をアピールできるか一考してください。

- ②総合型選抜は旧一般公募推薦のような学校推薦型選抜と異なり、準備しなければならぬ書類が多いので、漏れがないようチェックして早めに準備しておきましょう。大会入賞の賞状のコピーや資格の取得証明書等など、どこにしまっているか確認しておくこと。書類提出の締切りが迫った時期になって「英検の合格証書をなくしたのでなんとかならないか」等と相談に来る人がいますが、間に合わなかったということがないようにしましょう。
- ③書類選考の大きなポイントとなるのが、志望理由書（成果報告書が別にある場合もある）、事前課題です。志望理由書模試の結果をよく見て、自分に足りないところを把握し、夏の間に強化することが必須です。文章を書くことに自信がない場合は、必ず模試と同じ題で書き直してみてください。（当人の自信のあるなしに関わらず、指導担当の先生が指示されるかもしれません。）
- ④書類選考を通過すると、面接・小論文の試験が多くの学校で課されます。

推薦入試で一番に評価のポイントとなるのが、「高い学習意欲」と「学びに対する明確な目的意識」であることはすでにご存じのことと思います。「自分はこれまでこういうことに関心をもって取り組んできた。大学ではこういったことに意欲的に取り組みたい」という意思を、根拠をもって提示できるかがポイントとなります。これまで見てきた経験から言うと、この「根拠」の部分が薄っぺらであったため、不合格となった例が多いように思います。さきほど志望理由書のところで「自分に足りないところを把握して強化すべし」と書きましたが、多くの場合「足りない」のは勉強量なのです。関連する教科の学習、読書、報道記事からの情報収集・整理を日々習慣として行ってください。「推薦入試では多くの場合、学力試験は課されない」と言われてきましたが、現 3 年次生が受ける試験は、従来の小論文やプレゼンテーションに加え、ストレートに学力を確認する「口頭試問」や「教科科目の学力検査」が課される可能性が一特に国公立大学や難関私立大学では一 高くなります。（中には共通テスト受験を課すところもあります） 集団面接

で受験生にディベートを行わせるといったことも考えられます。どのような形で学力が確認されるのか、要項ですぐに調べ、対策を立てておきましょう。

3. 資格取得証明書等、準備できるものから揃えていこう。 — 上記のとおりです。
4. 担当の先生の指導に従って、志望理由書等を作成すると同時に、面接、小論文、その他の課題に取り組もう。

(ア)文書を作成する際の注意事項

漢字・送り仮名のミスは0（ゼロ）にすること。不確かな場合は必ず辞書で確認することを習慣にしてください。高校生であれば当然漢字で書くべきところをひらがなで表記するのはよくありません。小論文試験の本番であれば、不確かな漢字は書くべきではありませんが、事前に準備する書類はきちんと整えましょう。

(イ)小論文の練習をする際の注意事項

練習時から時間をきちんと計って、自分が原稿用紙を埋めるスピードを把握するよう努めてください。小論文は「始め」の合図と同時に書き始められるものではなく、試験時間の何分の一かを使って、論文の構成も含めた構想を練らなければなりません。論述の筋道が決まってから一気に書き上げるわけですが、その際「原稿用紙を埋めるスピード」が問題になってくるわけです。また自分が書いた文章は段落ごとにさっと読み返し、主述のつながらない文等がないか確認しましょう。途中の段階で気が付けば書き直すことも可能です。

☆3年次の皆さんにとっては、まさに「勝負の夏」！後悔することがないように計画的に、主体的に「やるべきこと」に取り組んでください。

千葉商科大学 高大連携・東京 CPA 会計学院 進路セミナー

- ・8月と9月に千葉商科大学で日商簿記1級講座があり、無料で本校からも参加できます。
- ・専門学校の東京 CPA 会計学院の先生が7月20日(火)に来校されます。この学校で指導を受け、税理士試験に合格できた本校卒業生が複数いるそうです。将来、公認会計士や税理士、企業の経理職を考えている人で話を聞きたい人は参加できます。

どちらも希望者は相談部木下のところまで来てください。